

# 幼稚園における歯科検診について

幼稚園での歯科検診では、目視によるスクリーニング検査を行います。

スクリーニング検査とは、大勢の人の中から「特定の病気の疑いがある人」の早期発見、早期治療につなげるための検査です。

歯科医院での診察と変わらないように見えますが、学校歯科健診ではあくまでもスクリーニング検査のみなので、歯科医院で行うような精密な検査はできません。

見落としがないように歯科医師が気を付けていても、

- ・複数人 診るため限られた時間であること
- ・幼稚園の照明下での、目視であること
- ・子どもが嫌がった場合には、無理強いしない(口を開けてくれない場合、奥歯まで見れない)こと
- ・幼稚園では、口の中に入れるミラーを使ってまでの検査が難しいこと

等々の理由で、歯と歯の間の小さな虫歯まですべて確認する事は難しいです。

なので、

- ・食べかすが残っていて、それが黒い影に見えて虫歯と診断される
- ・噛み合わせの検査時に、子どもが、しっかり「イーッ」と噛めずに、噛み合わせが良くないと診断される
- ・プラーク(歯垢)が歯に残っている状態の検査では、虫歯はプラーク(歯垢)の下に隠れてしまうので異常なしと診断される

等、診断結果が実状と違ってしまうというケースも少なくありません。

また、虫歯治療済み・現在治療中の歯に関しては、

引き続き治療(経過観察)してください

という意味合いで、「異常なし」と診断されることも多いです。

あくまで学校での検診であることにご留意いただければと思います。

(ホームページにも掲載)